

# 【消化器内科】

## 1 研修目標

### 一般目標

臨床医として、基本的な診療方法、診療態度、診療録の作成方法を習得する。特に、消化器領域の病態・疫学を理解するとともに、日常診療に必要な診断や治療を的確にできることを目標とする。また、医療チームの一員として診療に参加し、基本的診療技能を実践できるように学ぶ。

### 行動目標

- ①基本的診察を実施し、必要な診療情報を収集することができる。
- ②的確に全身状態や問題点を把握し、診療方針の計画を立案する。
- ③担当患者について診療記録を適切に記載し、医療チーム内で提示できる。
- ④担当患者に関する主体的なアセスメントとプランニングを行い、チーム内のディスカッションに参加できる。
- ⑤消化器疾患に関する検体・画像検査等の各種検査の意義や所見を理解する。また、基本的な検査手技（腹部USやEGD等）を経験する。
- ⑥消化器診療において必要な知識や技能に関する自己学習やシミュレーター実習を行う。
- ⑦保険診療の基本を理解し、実践できる能力を身につける。
- ⑧医療における偶発症を理解し、安全な医療を行うための資質を養う。また、インシデント等が発生した場合の適切な対処法を習得する。

## 2 研修方略

### (1) 研修期間

8週間程度

### (2) 方法

行動目標	方法	場所	担当者
①②③⑦⑧	講義	カンファレンス室	部長
①②③④⑤⑥⑦⑧	実地診療	外来、病棟、検査室	主治医
①②③④⑤⑦⑧	カンファレンス	内視鏡室、 カンファレンス室	全医師
①②③⑥	自習	内視鏡室、研修医室	
⑤⑥	見学	内視鏡室、X線透視室	検査・ 治療担当医
①②③④⑤⑦⑧	ディスカッション	内視鏡室	全医師

### (3) 週間スケジュール

月曜 午前：病棟研修、腹部 US 施行、担当患者の内視鏡検査の見学・介助  
午後：内視鏡検査・治療の介助

火曜 午前：（月曜と同じ）  
午後：腹部血管造影検査の見学・介助、内視鏡カンファレンス

水曜 午前：外来研修(\*)  
午後：内視鏡検査・治療の介助、合同カンファレンス

木曜 午前：（月曜と同じ）  
午後：内視鏡検査・治療の介助、内視鏡カンファレンス

金曜 午前：（月曜と同じ）  
午後：内視鏡検査・治療の介助、新患カンファレンス

\* 指導医の外来担当日に合わせて、外来研修の曜日を変更する。

### 3 研修責任者

消化器内科 部長 戒能 美雪

### 4 研修指導医

消化器内科 部長 中村 陽平

消化器内科 部長 浦田 洋平

消化器内科 部長 播磨 陽平

消化器内科 一杉 知毅

### 5 評価

研修目標に従って診療し、診療録の作成・症例提示などを行い、毎日担当指導医の評価を受ける。週 1 回、カンファレンスで症例提示や検査・治療方針のプレゼンテーションを行い、全指導医の評価を受ける。

当科研修終了時に研修到達目標の達成度について自己評価し、一方で指導医や研修責任者から評価を受ける。上級医のみならず、看護師・薬剤師・臨床検査技師などの各種コメディカルからの評価も受ける。